

第3回能登半島すずウルトラマラソン 大会報告レポート

平成26年10月5日開催



能登半島珠洲ロードレース協会

作成：株式会社日本旅行（企画協力）

目 次

開催御礼… P3

1. 大会総括 … P3

2. 大会概要 … P4

3. スポンサー企業及び協力協賛者 … P5

4. 参加者分析 … P7

5. 大会記録 … P9

6. 第3回大会の参加者評価 … P10

7. 第4回大会に向けて … P14



開催御礼

(平成 26 年 10 月 6 日発信)

能登半島すずウルトラマラソン
実行委員長：田中満博

10 月 5 日『第 3 回能登半島すずウルトラマラソン』を開催いたしました。大会当日は、台風直撃と雨は避けられたものの、かなり風が強く、ランナー、ボランティアすべての参加者が耐えに耐えた大会となりました。そのようなコンディションの中、挑み続けたランナーの皆さんに大きな勇気をもらうことができました。また、大きな事故も発生することなく、無事終了いたしましたことについて、皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。昨年に続いて、距離表示等、エイドの内容を改善いたしましたが、皆様のご意見等、ランネット、ブログなどを拝見させていただき、今後もさらなる進化を目指していきたいと考えております。皆様のご指導、応援をお願いしたいと思います。

これから、能登半島は海の幸、山の幸たっぷりの季節が訪れます。そして、皆様が走られたときと大きく異なり、荒れ狂う日本海、そして吹雪の冬がやってきます。

『道は厳しく、気候も厳しく、能登の道』しかしながら人のやさしさを忘れることなく、来年に向けてがんばります。また皆様にお会いできることを楽しみにしております。

本当にありがとうございました。皆様のご健康とご活躍を祈ります。

1. 大会総括

3 回目を迎え、運営面および参加者対応について概ね好評価をいただいた。一部において、距離表示等で曖昧な箇所が発生しているが、来年は看板設置箇所等の再確認を行いさらなる改善が必要である。参加人数は第 2 回大会の 700 名から 200 名近く減少する結果となった。白山ウルトラおよび越後くびきの大会が近接していたため、想定内ではあった。石川県外からの参加者が 7 割を越え、全国各地から参加いただいていることは、交流人口の拡大および経済効果の面で大きく地元貢献できている。経済効果だけでも 100 万近くの効果が地元および奥能登にあったと想定される。

来年度は参加者の評価をさらに反映し、改善を図るとともに、北陸新幹線開業を狙い、首都圏および北関東地区からの参加者へのプロモーションにより参加者増を目論む。また、リレータイプを導入を検討することにより、さらに数百名の大会参加者が増える可能性もある。

今後とも、地域の地元のつながりを大切に、能登半島珠洲ロードレース協会を中心に運営を継続し、奥能登および珠洲ブランドの構築に寄与していく。

2. 大会概要

大会テーマ 「心はひとつ、道は厳しく、人はやさしく能登の道」

～地元のボランティアを中心とした能登の人のやさしさたっぷりの大会を目指します

1) 大会概要

■大会名	第3回 能登半島すずウルトマラソン
■主催者	能登半島珠洲ロードレース協会（第3回 能登半島すずウルトマラソン実行委員会） 会長： 桜井久一 実行委員長： 田中満博
■開催日	平成26年10月5日（日）5：00スタート
■開催地	石川県珠洲市、輪島市
■種 目	◇100キロの部（102キロ）制限時間14時間 珠洲健民体育館～見附島～若山小学校～八太郎峠～町野～舟木谷峠～千枚田＜折返し＞～舟木谷峠～町野～曾々木～大谷町～ラケット道路～禄剛崎灯台～三崎町～珠洲健民体育館 ◇60キロの部（62キロ）制限時間9時間 珠洲健民体育館～見附島～若山小学校～大谷峠～大谷町～ラケット道路～禄剛崎灯台～三崎町～珠洲健民体育館
■後 援	石川県、珠洲市、珠洲市教育委員会、輪島市、輪島市教育委員会、北國新聞社
■企画協力	㈱日本旅行

2) 大会スケジュール

●10月4日／土曜日

受 付	ラポルトすず	13：00～17：00
説明会（無料）	ラポルトすず	14：30～16：00
前夜祭（有料）	ラポルトすず	説明会終了後～17：30頃

●10月5日／日曜日

駐車場		（開場）3：00～
当日受付	珠洲健民体育館内	3：30～4：45
開会式	スタート地点	4：50
スタート	100K&60K	5：00
ゴール	60K／100K	14：00終了／19：00終了

3) 出走率・完走率

100キロ男性	申込者：313人	出走者：274人	完走者：178人	64.9%
100キロ女性	申込者：35人	出走者：34人	完走者：29人	85.2%
60キロ男性	申込者：104人	出走者：101人	完走者：82人	81.1%
60キロ女性	申込者：34人	出走者：28人	完走者：23人	82.1%
計	486人	437人	312人	—
	出走率	89.9%	完走率	71.3%

4) 協力関係者

■協賛（順不同）

(株)日本旅行、西日本旅客鉄道(株)、株式会社さくらホーム、専門学校金沢リハビリテーションアカデミー、北陸鉄道グループ、大塚製薬(株)、ファイテン(株)、日本製粉(株)、ミズノ(株)、日本バナナ輸入組合、(株)ダスキン東海北陸地域本部、(株)ミモエージェント、ランライフ、チョッパー、(株)T & R、フォトコスギ、北陸総合警備保障、能登ふれあいガーデン、セト钣金自工、NPO 法人能登すずなり、珠洲ビーチホテル、(株)道下石油、むろや食堂、谷野旅館、梶田商店、田中クリニック、税理士法人中山会計、橋場たばこ店、(株)谷口建設、(有)川元石材、能登建設(株)、メルヘン日進堂、はさたに はり・灸接骨院、(有)角田建築板金、(財)鉢ヶ崎リゾート振興協会、北國新聞蛸島販売所、矢野本家謹製瓦(株)、矢形税理士事務所、日本醗酵化成(株)、(有)スズトウシャドウ印刷、(株)浜野水産、みちした内科クリニック、大貫眼科医院、くにまつ（民宿）、(有)リカーショップしも、(株)中野朝日自動車工業、井端内科医院、小西医院、珠洲石油業協会、なかにに医院、(株)アンヨウジ、民宿 瑞、(株)鍵主工業、(株)丸中組、今井工務店、美容室あすーる、(有)シーベル、ALSOK 珠洲営業所、榎屋フードサービス、(株)大丸、矢野工芸、多間栄開堂、珠洲ロータリークラブ、岩坂板金、(有)ふじお建築、(株)ミサキ、シーサイド、海楽荘、(株)のとかん、(有)重政損害保険、(株)のとさく、林舗道(株)、(株)プロモート、岡村歯科医院、フラスタジオ恵、8 番らーめん飯田店、泉谷菓子舗、(株)いずみや、あいずみクリニック、(有)正院自動車商会、末正、ラウンジみのや、第一生命、コクラタイヤ、丸辰鮮冷(有)、えばた民宿、民宿 山中荘、たかせ歯科医院、物応整骨院、木下工務店、はまおかスーパー、のとじ荘、(株)すず環境サービス、JA すずし、ダスキンサーブ東海北陸、ダスキン敦賀、ダスキン小浜、ダスキン新開、ダスキンサーブ東海北陸諸江町支店、珠洲市銀行協会、ダスキン大橋、アートロード(株)

（個人の皆様）敬称略

宗田好雄、野口好美、高井広子、森本 昇、黒川正男、慶祐秀治、堀 達人

■特別協力

北陸放送(株)

■協力団体（順不同）ボランティアスタッフ等

珠洲商工会議所、珠洲青年会議所、輪島市青年会議所、珠洲市体育協会、珠洲市総合病院、珠洲市区長会連合会、町野スポーツクラブ、珠洲市陸上競技協会、珠洲市婦人団体協議会、珠洲市青年団協議会、（財）見附海岸自然公園協会、能登井事業組合、珠洲市銀行協会、西部小学校、大谷中学校、宝立小中学校、緑丘中学校、県立飯田高校、ダスキン飯田支店、金沢星稜大学、株式会社エイム、石川県漁協すず支所、金沢学院大学、ほか珠洲市、輪島市の皆さん

■主催者：能登半島珠洲ロードレース協会

相談役／刀祢秀一（珠洲商工会議所会頭）／名誉顧問 桜井久一

顧問／向山忠秀（珠洲市市議会議員）米田幸助（珠洲市市議会議員）

会長／田中満博 副会長／寺井隆史（珠洲青年会議所理事長）保下 厚（輪島青年会議所理事長）

理事／中 秀一（前珠洲市体育協会会長）、政頼新次郎（珠洲市陸上競技協会会長）、重政靖之（NPO 法人能登すずなり理事長）、新 弘之（珠洲市区長会連合会長）、中板睦子（珠洲市婦人団体協議会長）、浦勝肥郎（珠洲市青年団協議会）、石井 進、万寿暢夫（NPO 法人町野スポーツクラブ理事長）、上乘秀雄（ケロンの小さな村代表）

監 事／唐澤 正

■第3回『能登半島すずウルトラマラソン大会』実行委員メンバー

実行委員会会長／桜井久一

実行委員長／田中満博 実行副委員長／坂 辰重

実行委員／上野郁雄、唐澤 正、林 修蔵、藪岡貞雄、小畑 亮、国永英代、大谷昭博、岡田 康、米田幸助、大口哲郎、楠 享士、高野浩一、上野佐知子、池田 進、安用寺浩史、田中龍太郎、森川和重、向 正吉、板村敦子、出竈洋子、外畑由美子、小畑考作、小川恵里沙、定祐寿美男

大会MC／辰巳平一

アドバイザー：杉本与光（ダスキントオール）、宮本貴正（日本旅行）

3. スポンサー企業

1) スポンサー企業

株式会社日本旅行	西日本旅客鉄道株式会社	金沢リハビリテーションアカデミー
・ゼッケンスポンサー ・協賛金 ・企画運営、アドバイザー	・ゼッケンスポンサー ・協賛金	・ゼッケンスポンサー ・協賛金
		
大塚製薬株式会社	ミズノ株式会社	株式会社さくらホーム
・アミノバリュー、カロリーメイト、紙コップ等の提供 ・出店・要員派遣	・参加賞（Tシャツ）の値引 ・ボランティアタオルの値引 ・出店	・ゼッケンスポンサー ・協賛金
		
日本製粉株式会社	日本バナナ輸入組合	ダスキントオール
・パスタ提供（前夜祭他） ・参加者土産用パスタ提供 ・出店・要員派遣	・バナナ提供（600本）	・設備設置協力 ・大会アドバイザー
		
株式会社エイム	ファイテン株式会社	北陸鉄道グループ
・スタッフ派遣	・スタッフ派遣 ・出店	・バス運行要員派遣 ・協賛金
北陸放送株式会社	株式会社ミモエージェント	
・MC派遣 ・トロフィー提供	・ホームページ制作 ・協賛金	

4. 参加者分析

1) 都道府県別

	都道府県名	100Kの部 (男性)	100Kの部 (女性)	60Kの部 (男性)	60Kの部 (女性)	総計	エリア別	エリア別 比率
1	北海道	2	1	1		4	7	1.4%
2	青森県	1				1		
4	宮城県	1				1		
7	福島県			1		1		
8	茨城県	3		3		6	111	22.9%
9	栃木県			2		2		
10	群馬県	2				2		
11	埼玉県	6	1	1		8		
12	千葉県	16	3	1	2	22		
13	東京都	28	5	8	4	45		
14	神奈川県	20	1	3	2	26	182	37.5%
15	新潟県	2	2	3	1	8		
16	富山県	17	2	7		26		
17	石川県	84	2	38	10	134		
18	福井県	2		2		4		
20	長野県	5		4	1	10		
21	岐阜県	9	2	4	1	16	67	13.8%
22	静岡県	5		1		6		
23	愛知県	27	5	7	4	43		
24	三重県	2				2		
25	滋賀県	9	2	1	2	14	108	22.3%
26	京都府	6	1	3		10		
27	大阪府	38	7	10	6	61		
28	兵庫県	10	1	4	1	16		
29	奈良県	5				5		
30	和歌山県	2				2		
32	島根県	1				1	9	1.9%
34	広島県	3				3		
35	山口県	3				3		
36	徳島県	1				1		
37	香川県	1				1		
45	宮崎県	1				1		
46	鹿児島県	1				1	2	0.4%
総計		313	35	103	34	486	486	
							県外比率	72.4%
最北端	北海道札幌市		4名					
最南端	鹿児島県鹿児島市		1名					

2) リピート数

	人数
2年ぶり出場	14
2年連続出場	102
3年連続出場	60
初参加	310
総計	486
(リピート率)	36.2%

3) 年齢別

年齢	100Kの部 (男性)	100Kの部 (女性)	60Kの部 (男性)	60Kの部 (女性)	総計	年代別	年代別比率
19	1				1	1	0.2%
21	2		1		3	38	7.8%
22	3		1	1	5		
23	3		3		6		
24	3	1			4		
25	2		1		3		
26	3		1		4		
27	2		1		3		
28	4				4		
29	4	1	1		6		
30	5			1	6	97	20.0%
31	7		1		8		
32	4		4	1	9		
33	4		5	1	10		
34	9		3	1	13		
35	6	1			7		
36	6	1	2		9		
37	5		5		10		
38	8	1	4	1	14		
39	8	2	1		11		
40	7	2		1	10	160	33.0%
41	4	2	5	1	12		
42	9	1	6	1	17		
43	12	1	3	2	18		
44	7	3	5		15		
45	14	3	3	1	21		
46	8		2	3	13		
47	16		5	7	28		
48	9	1	1		11		
49	9	2	3	1	15		
50	10	2	1		13	126	26.0%
51	12	2	2		16		
52	11	2	2	1	16		
53	9	1	2	2	14		
54	11	1	2		14		
55	6		2		8		
56	9		4	2	15		
57	4	1	3		8		
58	7	1	3		11		
59	4	2	3	2	11		
60	8				8	59	12.2%
61	3		3	1	7		
62	4		2	1	7		
63	8				8		
64	8	1	1		10		
65	3		1	2	6		
66	5		2		7		
67	1		3		4		
69	2				2		
71	1		1		2	5	1.0%
72	1				1		
73	1				1		
76	1				1		
総計	313	35	103	34	486	486	100.0%

5. 大会記録

1) 記録写真



スタート前（祈禱）



スタート



軍艦島



町野エイド



曽々木エイド



パスタ（曽々木）



塩茹でじゃがいも



自然保養村エイド



椿峠（オロナミンC）



能登井エイド



本エイド



表彰式



曽々木付近



体育館内



ゴール

6. 第3回大会参加者からの評価

1) ランネット投稿評価（10月13日現在）15件 平均 83.7 点

（評価点 98.5）

コンビニないし、通信もLTEとかないが、素晴らしい海岸線、最高のおもてなし(説明、抽選会、開会式、連続参加優遇、MC、ゴールテープ、エイド、温泉等)、そしてなにより「山」があった！20k地点で山やらされ足ダメにされたのに残り70Kもある。かつ海岸の強風+細かい山の連続が、支えるエイドが秀逸。カレー、魚無能登井、日本製粉(重要) パスタ、そしてアミノバリューにオロナミンC1本！オロナミンCで大幅回復。途中でマッサージもあり。完走メダルは地元色あるしTシャツ手作り感あるデザインで気に入った。あえて意見するならキツイコース故ドロップバッグあと1箇所欲しい。ライト携行必須、102KmはOK！100K拘らず名所巡りを入れたのは大歓迎。ゴール地点で地酒を…細かい事にしない人やDM限定でサロマよりオススメできると思う。昨年より参加者減ったのは残念だが来年は新幹線も開通するし是非体験して欲しい。言葉では伝えきれない素晴しさがある。四万十、白山白川郷と時期が被るのが唯一痛い要素。費用、体力面でココと選択せねば。

（評価点 97.0）

年々、進化しています。前日の説明会は越中おわらや迫力の太鼓演奏、フラダンスなどのアトラクションや楽しい抽選会などでおおいに楽しみました。レースは台風の影響で雨こそたいしたことはありませんでしたが、向かい風で体力が消耗し、昨年同様、ほぼ同じような距離でタイムオーバーになり、第3関門の狼煙をクリアできませんでした。ただ、昨年より僅か距離が伸びたのが収穫です。自己ベストの82.5キロでした。どのエイドも充実しており、対応も温かく気分が良かった、沿道の応援も温かかった。能登の素敵な山里海は最高でした。

（評価点 96.5）

昨年は60キロの部でしたが、今年は100キロにチャレンジしました。去年は「ゴジラ岩ってどれ？」などとけっこう会話を楽しみながらも余裕で、残り数キロの表示を見て、もう終わり？残念だななどと思っていましたが、さすが100キロのハードルは高かったです。日没までにFinishしたかったというのもあり、一心不乱に走って、何の余裕もありません。完全燃焼しました。(ちなみに、順位は多分どちらも、平均よりちょい上の程度です。)

坂の上のエイドでのオロナミンCの手渡しで、去年は「ファイト!」といわれましたが、何のことかわからずに、「一発!」と返せなかったのが心残りで、今年はきちんと言い返そうと頑張って坂を駆け上りましたが、今回は「元気ハツラツ!」と適正なセリフになってました。「オロナミンC!」と返しましたが。(笑)携わった全ての方へ、ありがとうございました。

（評価点 95.0）

初ウルトラ(102キロ)完走できました！ありがとうございました。コースはアップダウンの繰り返しで「きつい」の一言です。でも、みなさんの行き届いた運営で安心して走れました。ある意味名所(観光)・名物(浜風・坂)コースです。でも、みなさん長い間サポートして頂きありがとうございました。来年も来たいです。

(評価点 91.5)

練習不足・体力不足で初参加リタイヤになりとっても悔しいです。コースは自分の足だけで奥能登の景勝地を巡れる最高のコースです。最高地点が 200m 程度と聞いてたのですがコース全体を通してアップダウンが多く累積標高差は結構あり自分のような素人初心者にとってはかなりハードルが高かったです。もともと人口の少ないエリアなので応援の数は少ないのですが道端に一人で座っているおばあちゃんとお話したりして、大勢の作られた応援では得られない心温まる触れ合いができ嬉しかったです。来年のウルトラ挑戦のメインレースにさせていただきます。有難うございました。

(評価点 89.5)

今年もスタッフや地元の方々の心のこもったおもてなしのおかげで 1 日楽しく走れました。昨年、後半のエイドのカロリー補給に難がありましたが、今年は、前半から最後までエイドの内容が充実していました。また、実際の距離が 102km であることを明確にして、途中の距離表示も非常に正確になり、100km 丁度のタイム計測もしていただけたことは嬉しく思います。ただし、昨年までの名残か、実際の 5km 毎の距離表示とエイドステーションの距離表示がずれていましたので、来年は修正いただければ、と思います。また、私のような遅いランナーにとって切実な問題は、次の関門までの距離と時間を把握することです。(私が見落としていたのかもしれませんが) できれば、関門のひとつ前のエイドステーションで、次の関門までの距離と関門時刻をスタッフに周知するとともに、わかりやすく表示いただくと助かります。年々、運営内容が改善され、ますますいい大会になってきました。スタッフの皆さんのがんばりが感じられました。来年も是非参加したいです。

(評価点 85.0)

3 回目の挑戦でしたが、96キロの最終関門前の95キロ地点で收容車に乗せられました。今年から102キロと距離を正確に通知されていたにもかかわらず最後まで頭の中の計算は100キロだった為、失敗でした。アップダウンの多いこのコースの厳しさを再認識させられました。来年も再度チャレンジしたいです。運営面はとても良くできていると思います。

(評価点 84.5)

前半は主に内陸部を走り里山の原風景を満喫。後半は海岸線に沿って走り里海の原風景を満喫。また、途中に見附島、白米千枚田、揚げ浜式塩田、木の浦岬、緑剛崎灯台など、観光スポットが巧みに織り交ぜられています。走っていてあきないコース設定となっていますが、峠越・岬越のほか、細かいアップダウンが連続しており、後半は足にきました。GPS ウォッチでの計測では、累積標高差は 2,000 メートルちょっとでした。沿道やゴールでの応援が少なかったのは、ちょっと寂しかったけど、自分の道楽で走っているのが不満はありません。自分は水以外自分で準備しているので、エイドの内容についてはよくわかりませんが、食事をすすめてくれたりしたので、充実していたのではないのでしょうか。そうそう、後半ばててきたときにオロナミン C で復活できたので、スポンサーさんをお願いして全エイドに設置していただくというのは贅沢でしょうか。来年も出場します。

(評価点 83.0)

62 キロの部にはじめて参加しましたが、ボランティアさんや関係者の方が非常に素晴らしくて、感激しました(^-^)コースは想像以上に厳しかったです。エイドの皆さん、沿道の方々、他のランナーの方々の

応援と素晴らしい景色に元気をもらい、なんとか完走できました(^-^)仲間も誘って来年も参加したいと思
ってます(*^*)

(評価点 82.0)

スタート前の映像は気合いが入ると同時にウルツときました。コースは名所を上手く取り入れられていて飽きることなく適度なアップダウンがあって走りやすかったです。ただ海岸線に出てからの向かい風にはまいりましたがオロナミンCとエイドの皆さんの声援に助けられました。ただひとつ何故102キロという距離設定が不満というか何故なんだろうって感じでしたが帰りの金沢行きの長距離バスで大会パンフを読み直し役員関係者皆様のこのコースの思い入れの強さを知るにつれ来年もこのコースこの距離で開催して欲しいと切に思うようになりました。大会には絶対譲れない主催者の心意気ってのも大切ですし必要ですものね♪来年も102キロでよろしくお願いします

(評価点 82.0)

2年連続での参加です。昨年の1日中雨ということもなく、走りやすい環境でした。今年は10月初旬の開催ということもあり、日没前に帰って来られました。まずびっくりしたのが、ゲートが小さくなったことw前のゲートが頑固すぎだったので、相応になったんじゃないでしょうか？今回から、正直に102kmと銘打っていましたので良かったと思うのですが、途中の表示が滅茶苦茶でした。2kmぐらい誤差が出ていた箇所もありました。いかんせん、昨年より200人以上も少ない大会となり、白山白川郷も含め非常にさみしい大会となりましたが、今回も奥能登の温かい気持ちが味わえて良かったです。あと2kmは絶対不要です！

(評価点 75.0)

初めてのウルトラでした。もともとは京丹後に出るつもりだったのですが、所用で出られず、急遽こちらを発見してエントリー。エントリーしてからよく調べてみると、交通は不便、アップダウンは激しい、しかも昨年は土砂降りとなかなか厳しめな大会であることが判明。でも、石川県は父の故郷ということもあり、初のウルトラを経験する場所としては最適でした。結果は一度も歩くことなく(狼煙灯台は除く)無事に完走。他の方も書かれているとおり、応援の人数こそ多くありませんが、自宅の前にチョココンと座っているおばあちゃんが声をかけてくださったり、エイドでも「近所のおばちゃん」といった感じの方が気さくに話しかけてくださったり、辛さを感じない、手作り感満載の大会でした。来年も参加したいです！

(評価点 72.0)

昨年が終始どしゃ降りだったこの大会。今年は台風の接近で天候が心配でしたが、途中で小雨が降った程度ですみました。昨年に引き続き、無事完走できました。参加者は昨年よりも少なかったですが、逆にこれくらいの規模のほうがウルトラっぽくて好きです。運営面もほぼ完璧だったと思います。ただゼッケンはもう少し質の良いものにして欲しいです。昨年のような雨なら間違いなくボロボロになっていたはず。ランナーのマナーも他に比べれば良かったかと思います。また来年も来たいです。ありがとうございました。

(評価点 65.0)

毎年、細かい問題が解決されて、今年はかなり全般的に運営がよくなってました。コース上の案内やエイドの内容など、去年に比べると格段に良くなってます。ただ、一部区間エイドの距離がかなり長く、かなり厳しかったです。前々から、ここは次のエイドがなかなか来ないよねってほかの参加者も言っていました。全般的に、私としては悪いところは感じられないので、気になったのはそれぐらい毎年よくなってます。ただ、

人数が増えれば増えるほど、いくらよくなってもランナーの要求が厳しくなってくるので、そこが今後心配です。天気も曇りでしたが、小雨があったぐらいで、終始快適な気温で走れたのも良かったですね、しかし、三年連続参加なのですが、参加者リストみると初参加になってました・・・。
連続参加者には、お土産がもらえるのですが、その紙もはいつてませんでした。少しがっかり・・・。(申告したら、もらえたので良かったです^^;)

(評価点 59.5)

初めてのウルトラマラソン挑戦でした。台風の影響が心配されましたが、終日穏やかな天候でした(海岸線は強風で進めませんでした)。アップダウンが想像していた以上に多く、途中で故障してしまったのですが、どのウルトラマラソンも開催地的にはこのようなものなのでしょう。田舎のためか、沿道の声援は決して多くはありませんが、それぞれがとても温かいもので感動しました。マイナスポイントとしては距離表示が不正確だったこと。終盤に至ってはもう少し細かな表示が欲しかったですね。でも手作り感満載の大会で全般的に良かったと思います。

8. 第4回大会の方向性（案）

●大会概要（案）

■大会名	第4回 能登半島すずウルトラマラソン 同時開催予定（新設）第1回 能登半島すずウルトラ継走大会
■主催者	能登半島珠洲ロードレース協会
■開催日	平成27年10月18日（日）5：00スタート
■開催地	石川県珠洲市、輪島市
■募集スケジュール	公式発表：平成27年4月1日 募集開始：平成27年4月24日 募集締切：平成27年9月中旬
■種目 及び目標参加者数	◇100キロの部 600名 ◇60キロの部 200名 合計800名 ◇（新設）100キロ リレーの部（4人1組：150組＝600名） 個人の部、リレーの部あわせて1400名
■コース	◇100キロの部（制限時間14時間） 正式には102キロ ◇60キロの部（制限時間9時間） 正式には62キロ
■参加費用（予定）	◇100キロの部 15,000円 ◇60キロの部 10,000円
■後援（予定）	石川県、珠洲市、珠洲市教育委員会、輪島市、輪島市教育委員会、北國新聞社
■企画協力（予定）	（株）日本旅行
■特別協力（予定）	北陸放送（株）
■協力企業（予定）	大塚製薬（株）、日本製粉（株）、ミズノ、ファイテン 他

●大会の開催の考え方

■大会テーマ	心はひとつ、道は厳しく、人はやさしく能登の道（第1回から継続）
■大会の目的	1）奥能登と全国を結ぶ交流人口拡大（毎年500人のリピーターづくり） 2）奥能登地区の住民の健康づくり、及び若年層の故郷愛の創出 3）10百万以上の経済波及効果
■大会ビジョン	参加者にとって、珠洲は年2回訪れないといけない第二のふるさとにしてもらう
■本大会の特徴	1）奥能登のメインの観光地および産物を十分に堪能してもらう 2）数々のアップダウン等による完走率7割の厳しいコース設定 3）地元ボランティアによるホスピタリティ（おもてなし）
■改善策	1）リレーマラソン導入による参加者数倍増 2）誘導体制の強化 3）市内の宿泊体制の強化（民宿、民泊、寺宿泊等の検討）→NPO すずなりに依頼
■長期目標	1）第5回までは継続させる（～2017年） 2）コンスタンスに1000名の参加者を募る。リピーター率は4割を目標とする。 3）能登井やワイン、塩など地域物産物と共に奥能登のブランド力向上に貢献する。 4）参加、大会参画、ボランティアを含め、若年層を中心に理解を深めていく。小さい頃から具体的なホスピタリティを学ぶことができる大会を目指す。 5）自治体と民間の境界を越えた運営組織体制を創る。協会のNPO法人化等を検討

『道は厳しく、人はやさしく能登の道』

これからも手作り感満載で、能登の魅力とおもてなしをたっぷり提供していく大会を目指します



第3回能登半島すずウルトラマラソン大会

主催：能登半島珠洲ロードレース協会

石川県珠洲市飯田町28部ー33ダスキン飯田支店内

大会実行委員長 田中満博

■企画協力および本資料作成：株式会社日本旅行北陸営業部